

小さいお子さんから

『いろいろきのこ』
山岡 ひかる／作
くもん出版



登場するのは、えのき、まいたけ、しいたけ、しめじなど、食卓でもおなじみのきのこたち。リズムカルな言葉が楽しく、親子のコミュニケーションが生まれる一冊です。思わずおどり出したくなりそう。

ていねいから

『きのこレストラン』
新開 孝／写真・文
ポプラ社



かわいく赤いきのこ、タマゴタケ。新鮮なものでないと人が食べることはできません。しかし、日にちがたつてくずれはじめたタマゴタケは、虫たちのレストラン。どんな虫が来ているのでしょうか？きのこを食べる虫を紹介する写真ずかんです。

中学年から

『ほしじいたけほしばあたけ
カエンタケにごようじん』
石川 基子／作 講談社



ほしばあたけと胞子をまきに行ったものの、森の中ではぐれてしまったほしじいたけ。あやしい歌声に誘われて行ってみると、そこでは、カエンタケたちが宴会をしている…。長老きのこの知恵と勇気がつまった、ユーモアたっぷりの楽しいお話です。

高学年から

『不思議の国のアリス』
ルイス・キャロル／作 佐野 真奈美／訳
24／絵 ポプラ社



大あわてで走っていく白ウサギのあとを追って、アリスが落ちた深い穴。そこは不思議の国の入り口でした。しゃべる動物や動くトランプなど、さまざまなキャラクターたちと出会いながら、その世界を冒険する様子を描いています。

ぴよぴよおはなしかい

- ようび：だい2・3すいようび
- じかん：ごぜん11じ30ぶん～（20ぶんほど）

☆えほんやわらべうたなど、0～2さいのおこさんといっしょにお楽しみください。

おはなしかい

- ようび：どようび・にちようび
- じかん：ごご2じ～（30ぶんほど）

☆えほんやてあそびなど、幼児～小学生向けの楽しいおはなしかいです。

うちどく
家読リスト

よもよも。

☆毎月23日は、
『朝倉市子ども読書の日』



2019 ねん **10** がつごら
あさくらしちゅうおうとしょかん

あかちゃんから

『へっこぶつとたれた』
こが ようこ／構成・文 降矢 なな／絵
童心社



「おいっちに、おいっちに」とたくさんのきのこちゃんが歩いています。「ぶつ」とおならをしている時のポーズがとてもかわいい。読むだけで自然とリズムが生まれる、楽しいわらべうた絵本です。

小さいお子さんから

『おべんとうばこのうた』
さいとう のぶ／構成・絵
ポプラ社



「これくらいのおべんとうばこに、おにぎり、おにぎり、ちよいとつめて…」歌詞に合わせて、色々なおかずが登場。ワンフレーズごとにページをめくりながら、見て聞いて、歌って楽しい絵本です。